



学校だより

御前崎市立白羽小学校

かがやく浜の子

平成29年10月11日

充実の秋『 まず、当たり前に感謝を 』

夜の空に響き渡るお囃子の音、草むらから聞こえる虫の声、夏の半袖Tシャツでは、肌寒さを感じる風、木々の葉の色づき……。夏が行き、秋がやってきました。

10月からの3ヶ月は、教育活動も充実期に入ります。学年のメイン行事もあり、目指す授業像に向けた学級の授業づくりにも力が入り、学びの集団としても大きな成長を遂げる時期です。校長室にやってくる子どもたちの顔も楽しそうで充実感を醸し出しています。これも、御家庭の皆様が子どもたちに日々働きかけてくださっているからこそです。朝起きて、食事をして、登校班のみんなと登校する。この毎日繰り返される当たり前のことが子どもの生活習慣や自立を育てる重要な営みであることは間違いありません。当たり前のことだけれど、それが当たり前にできることのすばらしさを認めていきたい、価値づけていきたいと考えます。皆様の毎日の当たり前の働きかけが今の子どもたちを育てていて、その積み重ねがその子の将来を育てていくのだと思うと、目の前の子どもたちが、より愛おしく感じられ、指導にも熱が入ります。私たち大人は、この当たり前にできることに感謝し、ともに手を携えて、子どもたちをよりよく育てていきたいと思ひます。

子どもたちの主体的な行動の表れ

お祭り前日の6日(金)、後期初めての委員会活動がありました。

終了後、校長室をノックする子どもたちがいました。今年度子どもたちの意見でできた「あいさつ委員会」の5, 6年生です。委員長の増田圭さんが「昇降口にある『あさしおごはん』の看板を塗り直したいです。みんなにもっとあさしおごはんを意識してあいさつをしてほしいからです。お願いします。」と提案してくれました。子どもたちの提案を実現させたいと考え、工事を依頼する予定です。また、自分たちで看板をつくりたいという願いも出されたので、子どもたちがデザインした看板の作成もしていきたいと考えています。白羽小学校は「あさしおごはんの学校」と宣言するのもいいと思ひます。ぜひ皆さんで子どもたちの願い「あさしおごはん」の深まりと広がりには御協力ください。よろしくお願ひいたします。

